

Cellum と Telenor、タイで 3D セキュア方式のモバイルウォレットサービスを展開

数千万ユーザーにモバイル決済サービスを提供

ブダペスト発、2014 年 10 月 2 日 – Cellum と Telenor 傘下の DTAC および PaysBuy の三社は共同で、タイ国内では初となる、カード決済に対応した多機能型モバイルウォレットサービスを開始しました。このサービスの導入によって数千万人規模のユーザーが 3D セキュア方式によるモバイル決済を利用できるようになり、タイにおけるモバイルコマース市場のさらなる活性化が期待されます。

タイでは 9 月末より、安全性と使いやすさを兼ね備える Cellum の最新アプリケーションの運用が開始されました。これにより、タイ国内のスマートフォンユーザーは各種サービスの支払いをより手軽に行えるようになりました。DTAC 傘下の電子決済サービス開発企業 PaysBuy が公開したアプリ「Mobile Credit Card」に Visa や MasterCard のカードを登録すれば、手元から多彩な機能を操作することができます。たとえば、DTAC のポストペイド方式の電話料金や水道・電気料金なども、携帯電話から決済することができます。請求書の QR コードやバーコードをスキャンするだけで、支払い操作の画面が表示されます。

また、プリペイド方式のテレフォンカードや 20 種類以上のゲームカード、Skype、Google Play、iTunes などにチャージする機能も備えています。本サービスの開始時には、国内の大手映画館チェーンなど約 30 の商業施設でアプリからの支払いが可能になるほか、近い将来、数千店ものオンライン店舗・実店舗での運用開始が見込まれています。

Cellum Global の社長兼最高経営責任者である János Kóka は次のように述べています。「タイは約 7,000 万人規模の市場です。インターネット回線数が人口 100 人に対してわずか 30 であるのに対して、モバイル契約数は 150 近くに達しており、しかもモバイルユーザーの 2 人に 1 人がスマートフォンを利用しています。今回のサービス開始によってモバイル上でのスマートウォレット化が実現することで、2,000 万世帯が公共料金の支払いや店舗での買い物にスマートウォレットを利用できるようになりました。この決済アプリを使用できる店舗は今後数千店規模に拡大する予定で、航空券の予約も可能になります。アジアはビジネスを展開する上できわめて魅力的な市場であり、タイ以外にも 3 か国で、現地企業との契約を見込んでいます。」

DTAC は 2,800 万人の加入者を有するタイ第二位の携帯電話事業者で、タイ全土でモバイルデータサービスを提供しています。DTAC 加入者のうち、スマートフォンユーザーは今年中に 1,000 万に達すると予想されています。PaysBuy はタイ有数の電子決済・電子ウォレットサービス企業であり、登録ユーザー数は 50 万人以上、参加するオンライン小売店は 1 万店を超えます。2007 年に DTAC 傘下に入っています。

Cellum について

Cellum は、ヨーロッパを拠点にモバイルウォレット事業を展開する大手企業で、スマートフォン上での取引の利便性および安全性の向上に役立つイノベーションに注力しています。銀行に匹敵する高いセキュリティレベルを備えた弊社のソリューションは、モバイル購入・モバイル決済などのモバイルコマース分野全般に加え、NFC（非接触）技術にも対応しています。Cellum は、世界最大手のクレジットカード会社が採用する最も重要性の高いセキュリティ基準 PCI DSS 3.0 への準拠を世界でいち早く達成したモバイル決済サービスプロバイダーです。

Cellum が運用するシステムでは現在、月に約 200 万件近くのセキュアなモバイルトランザクション情報を処理しています。主要な顧客企業やパートナーには MasterCard、Magyar Telekom、Telenor、Erste Bank、FHB Bank、OTP Bank、Vivacom などが名を連ねています。

2000 年に創業、2011 年からは本格的に国際展開に乗り出し、欧州の数か国に支社を設立、北米・アジア市場にも代理店を置いています。

www.cellum.com

詳しくは以下までお問い合わせください。

Tünde Sebók (Sudy c Co.)、電話+36 1 883 3685、メール sebok@sudy.co.hu

END